

つなげる、ひろげる、キャンパスアジア ▶▶▶ FOCUS ON A LANGUAGE.

悔しさを重ねれば、今はモゾモゾしてるけど、きつとうまくいく。

山本 「私もヨンへとイールンと3人で中国語喋っている時に、ヨンへは頷いているのに、私は分からなくて困る時がある」

イールン 「日本人が話す内容は理解できるけど、僕たち中国人の思考方式で日本語を喋るのが難しい。例えば、文法は正しいけど、日本人が場合によって使い分けている言葉を僕たちが使い分けるのは難しい。“象の鼻は長い”と“象は鼻が長い”とか」

山本・石田 「そういうことあるよね」

ソヒョン 「抵抗感…中国語は前より好きになったけど、語順が難しい。英語と同じだから…英語苦手だし…まだ喋るのは難しい」

山本 「中国語本当に面白いよね。喋れたら本当にいいと思う。漢字はどうやって覚えるの？」

ソヒョン 「韓国では1回生の時、単語と一緒に読んで、1人で書きながら勉強する」

イールン 「ジュンヨプが漢字を書く時は、絵を描いているように見える。例えば“木”を書く時の書き順とかが」

一同 「ああ～！（納得）」

ソヒョン 「漢字の書き方をちゃんと習った事ないから…あまり重要じゃなかったし」

石田 「日本人と中国人以外からは漢字って異世界でしょう？だから頭のなかでどんなふう存在しているか気になるよね」

山本 「私のルームメイトのロシア人の子は、毎晩アイパッドで大きく漢字を映して一生懸命練習してる。大変だねって見てる（笑）」

三ヶ国語を同時に学ぶキャンパスアジア。外国語を話している時、頭の中はどうなっているのか。

イールン 「走るように!!」

山本 「走るように？私はカラオケのイメージで、歌ってたら、歌う部分ってどんどん黄色くなっていったり、そういうイメージがある。韓国語喋ってて文法間違えたら、頭の中で黄色く埋まった部分が赤になって。イールンも？」

イールン 「走るように…言いたいことは確実にあるんだけどうまく表現できない。アニメです。アニメを見ながら“よみがえる刃”とかを思い出す。むしろ教科書に出る単語はわからなくなった」

ソヒョン 「私は日本語をゲームでいろいろ聞いていて、語順もだいたい韓国語と同じだし、大体こんな感じで良くなって思いながら話している。中国語は頭の中に本がある。本文があって、これは文法大丈夫かなって心配しながら話してる」

石田 「韓国語と日本語は語順が一緒に、これとこれっていうのがちゃんと対応するから、頭の中で思いついた単語を繋いでいけば伝わるんだけど、中国語を話す時は、語順が違うから、頭の中で先行する単語を“あっ!これじゃない”って1度捨てなきゃいけないので、混乱しながら話している」

イールン 「日本語には“この世界は俺が守る”と“俺はこの世界を守る”という2つの言い回しがあるけど、中国語では、一つの言い回ししかない」

石田 「日本語では意味が同じでも2通りの文章を作る事ができるけど、中国語では一通りの文章しか作ることができない。つまり、日本語の方が語順が自由っていうことかな」

イールン 「あと、靴が見当たらなくなった時に、中国人は“为什么我的鞋子不见了？”“我的鞋子哪里去了？”って言うけど、日本語は“为什么我的鞋子哪里去了？”と

いう事もあるでしょ？」

石田 「中国語ではその2つの文章は絶対2つにしかできないけど、日本語だったら組み合わせて1つの文章にできるっていうこと。“私の靴どこに行ったの”と“なんでなくなったの”を組み合わせで“なんで私の靴どっか行ったの？”みたいな」

イールン 「はい、その感じまさに」



山本 すみれ

立命館大学 国際文化専攻 3回生。本紙編集長。対談進行役でちよと緊張中。

石田 晶子

立命館大学 言語コミュニケーション専攻3回生。本プログラムには3学期目（韓国）から参加。

ソヒョン 박소현

東国大学 日本語学科3回生。日本のゲームが好きで、日本語を学ぶようになった。

イールン 姜允

広州外語外貿大学 韓国語学科3回生。日本のアニメが大好きで、アニメの名言がとにかく言いたい。

大 学入学後、英語以外の語学を勉強し始めた学生がほとんど。独自の勉強方法はあるのだろうか。

山本 「私は、LINEとかカカオの文字に残るものを使って勉強してる。発音は良くなならないけど、こういう風に喋るんだってわかる」

イールン 「僕は本を覚えて、あとアニメを見ることです。本で日本人や韓国人の書き方や思考方式を勉強して、だんだん文章を書けるようになった。発音はドラマとか外国人と話す過程で身についた」

石田 「ドラマは私もよく見る。“行ってくるね”とか意外に覚えてない事はドラマからもらう。なんとなくしか理解していない言葉でも使ってみて相手の反応を見る。単語帳で覚えた例文をそのまま使えて嬉しかった事があったから、単語より例文を覚えるようにしてる」

ソヒョン 「私も初めて日本語を勉強する時は、ずっとゲームだったから、悪い言葉もいっぱい出てくるしこれはちょっとヤバイと思ってドラマを見るようになった（笑）面白い話し方の人を見て、真似したりもする。でもドラマでも悪い言葉を覚えてしまう事があるから気を付けないと（笑）小説も読もうとしたけど、日本の小説は縦書きだから私にはちょっと向いてないと思った」

山本 「今の自分の語学力はどう？目標とか。私だったら、韓国語は結構自分の言いたい事は伝わるようになったけど、自分の知らない分野になると話せない時がある」

イールン 「あるな。政治とかそのような分野になったら単語がわからない」

石田 「聞いても分かるし、読んでも分かる単語も文法もいっぱいあるけど、自分で話すに出てこない。だから単語と文法を増やしたい。もっと積極的にになりたい。あと中国語は、頭の中で勝手に字を思い浮かべようとする癖がある。音で分かればいいのに、わざわざ漢字にしようとする考えを変えたい」

ソヒョン 「私も専門語が分からない。銀行のドラマ見ている時、何を言っているのかわからなかった」

一同 「半沢直樹でしょ！（笑）」※当時「半沢直樹」がアメリカでも人気。

積 極的にもっと自信を持って話せるようになりたい。焦ってる場合じゃない。

山本 「私、中国人の中ですごく話せる友達がまだいない。好きだけど、ご飯行こうとかなぜかない」

イールン 「行こうよ、すみれ（笑）」

石田 「でもわかる。自分に自信ないからなかなか誘えない」

ソヒョン 「親しくなりたいけど誘えないとか」

石田 「喋った後に、こう返せばよかったなあ!って悔しい思いをする事がある。でもそれを繰り返し重ねればきつとうまくいくと思う。今はまだモゾモゾしてるけど。あと、私は人に甘えるところが多いから反省してます（苦笑）近くに話せる友達がいたら任せてしまう。“パクチー抜いて下さい”ぐらい自分で言えるのに言ってもらったり…それをもっと積極的に自分からいきたい」